

ガラス固化技術開発施設(TVF)における固化処理状況について

— 運転再開に向けた対応状況 —

【概要】

○次回運転までのクリティカルパスである結合装置の製作/交換(別添資料-1)については、継続して定期的(1回/週)に進捗を確認しつつ進めており、現状は工程どおりの進捗である。令和3年3月末には、メーカー工場での組立を完了し、TVFに搬入する予定。4月中旬据付後、検査を実施し、5月中旬から溶融炉の熱上げを開始する予定。

また、予備品については、令和3年1月から材料手配を開始した。

○3号溶融炉の製作(別添資料-2)についても、計画どおり令和2年6月より材料手配に着手しており、現状は工程どおりの進捗である。

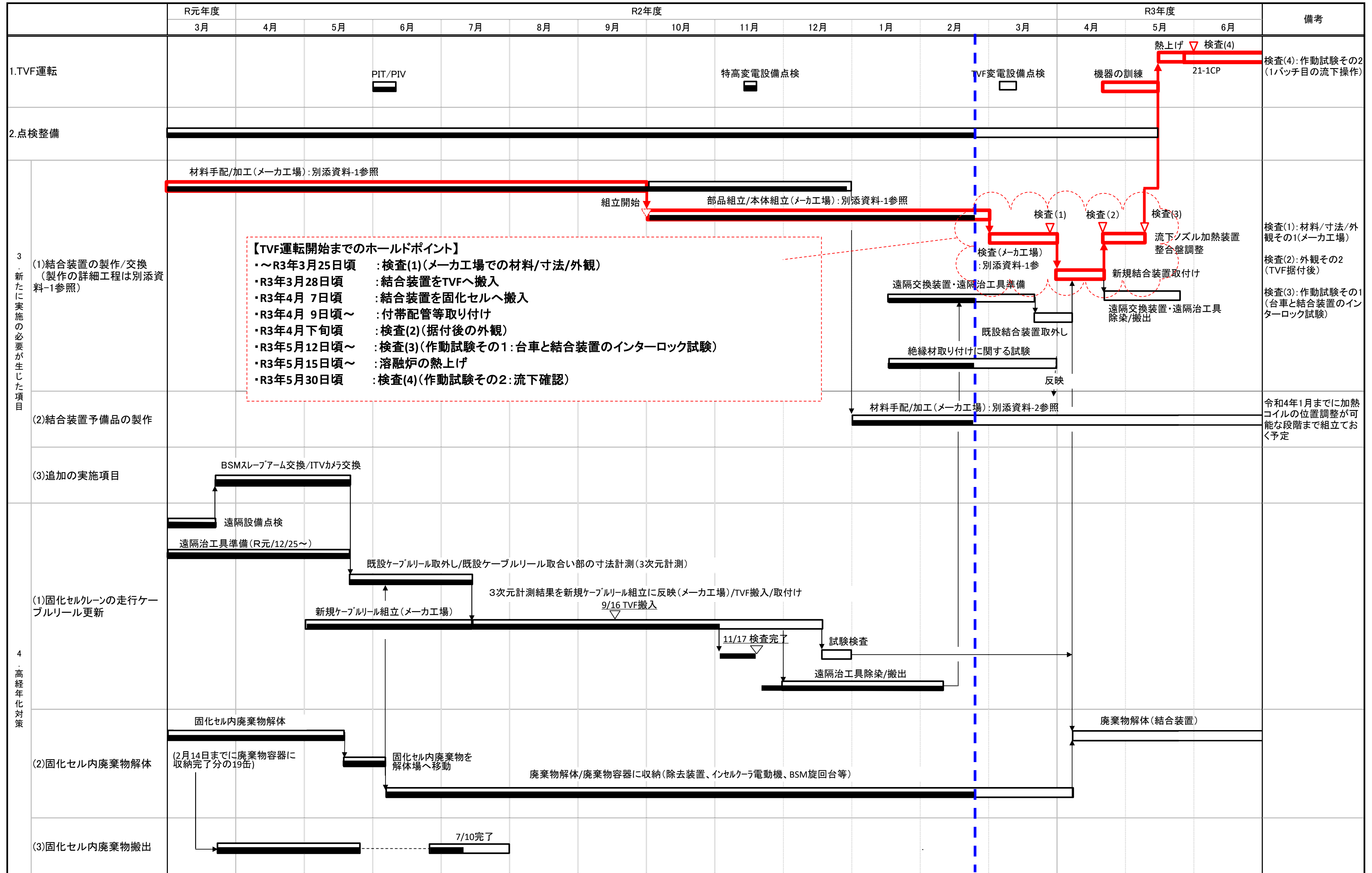
○並行して、高経年化対策として計画していた固化セルクレーンの走行ケーブルリール更新は令和2年11月17日に完了し、令和3年2月上旬までに、更新に用いた遠隔治工具の除染/搬出を終了した。現在は、固化セル内廃棄物解体を進めている。

令和3年3月9日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

TVFの次回運転までの主な作業スケジュール

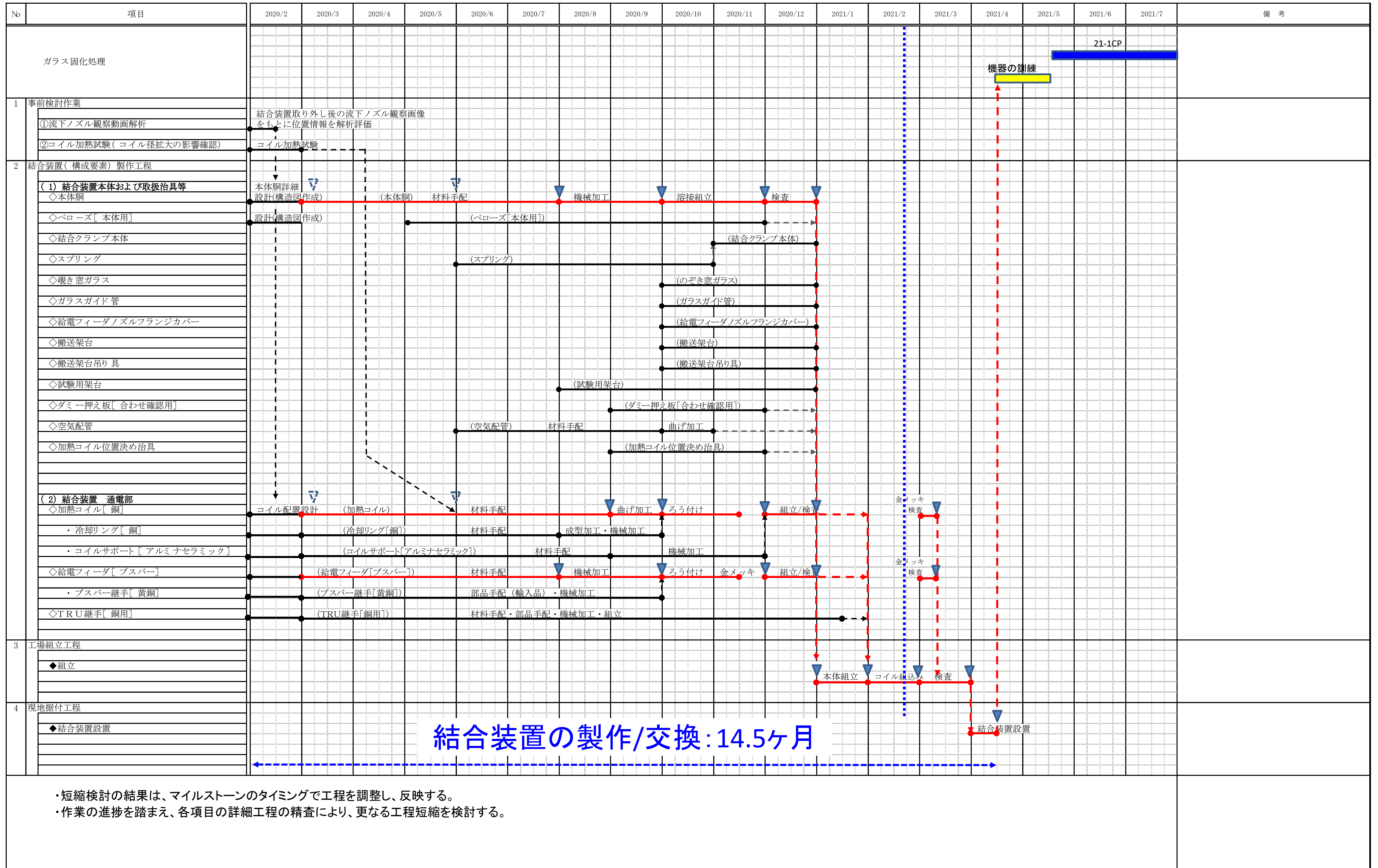
令和2年5月15日作成
令和3年2月24日改訂4



令和2年12月24日第50回東海再処理施設安全監視チーム会合資料に実績追記

令和2年1月30日作成
令和3年2月24日改訂7

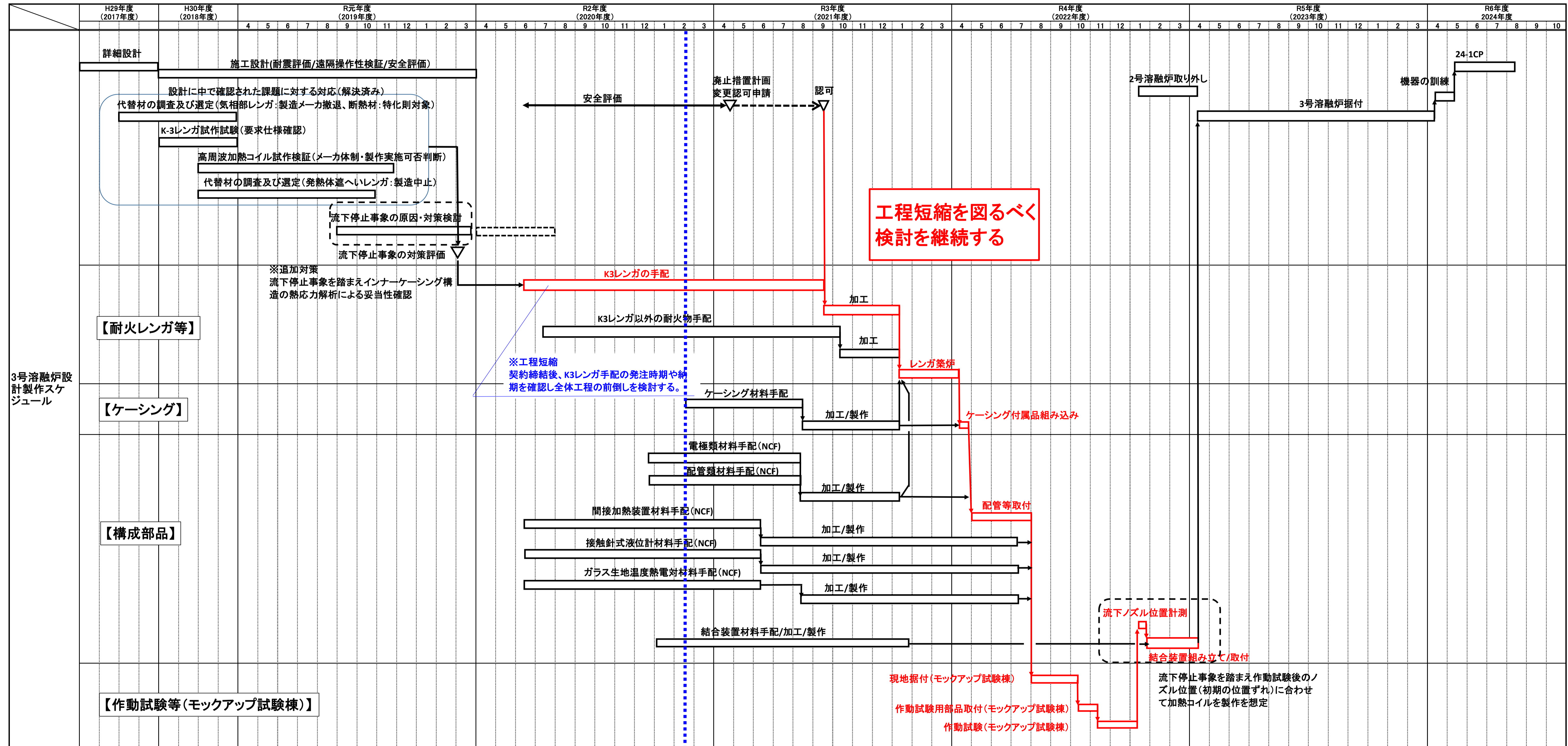
ケース2 全体詳細工程（工程短縮ケース）



TVF3号溶融炉の製作に係るスケジュール(1次ドラフト)

別添資料-2

令和2年12月24日第50回東海再処理施設安全監視チーム会合資料に実績追記
令和元年12月24日作成
令和3年2月24日改訂7



- ・ 製作・据付の工程短縮を検討中
- ・ 2号溶融炉取り外し前に、ガラスの抜き出しが必要。実施時期は調整中。
- ・ ケース2(結合装置の製作/交換)と並行して最短で進め、更新に向け早期に準備する。3号溶融炉への更新時期は、2号溶融炉の運転状況により調整する。